北海道標津高等学校

校長　渡　辺　幹　夫

生徒数　８５名

学級数　３学級

職員数　１６名

－地域の未来を創る人材となるための資質・能力を育む特色ある教育活動－

北海道の東に位置し、海、山、川、平野の多様な地勢を有する豊かな自然環境のもと、漁業、水産業、酪農業を基幹産業とする生産の町「標津町」において、唯一の高校である本校は、「持続可能な社会の形成者となり、地域の未来を創る人材となるための資質・能力を身に付ける」を学校教育目標として、教育活動を展開している。

特に、地域の未来に不可欠な要素でもある防災教育については、令和３年度に総務省消防庁が主催する防災まちづくり大賞において消防庁長官賞を受賞するなど、地域と一体となって大きな成果をあげている。

ー　生徒会が主体となった地域循環型防災教育の推進　ー

本校生徒会では、全校生徒の防災意識の向上を図るため、生徒会が主体となって、本校の避難所としての機能を確認するなどの避難所設営訓練を実施している。

また、ＨＵＧを取り入れた防災に取り組むとともに、地域や町内の小・中学生とも連携しながら、町独自の「オリジナルＨＵＧ」を作成するなど、地域と連携を図りながら地域循環型の防災教育を推進している。

ー　地域と連携し、地域の教育力を取り入れた教育活動　ー

本校では、総合的な探究の時間や理科、家庭科において、地域の教育力を積極的に取り入れた授業を展開している。

家庭科の「フードデザイン」では、標津漁業協同組合女性部から講師を招き、地域の食材を生かした郷土料理について学んでおり、また、「生物」においては、サーモン科学館の協力で、サケの遡上の見学や産卵の観察のほか、稚魚の放流などを行っている。

ー　地域や保護者の期待に応える教育活動の充実　ー

・『知床ゴミゼロ運動』の展開、『オリジナルＨＵＧ』の開発等の活動が認められ、ボランティアスピリットアワード『コミュニティ賞』、防災甲子園、防災町づくり大賞を受賞したことは素晴らしいと思います。今後とも、地元地域に根ざした活動を期待しております。（地域住民の声）

・幼稚園、小中学校と学校を楽しいと言ったことのない子が、標津高校に入ってからは常に楽しいと言っています。感謝しかありません。ありがとうございました。（保護者の声）